

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【公開番号】特開 2003-11096 (P2003-11096A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 15 日 (2003.1.15)
 【出願番号】特願 2001-201431 (P2001-201431)
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 6 F 1/24

B 2 6 F 1/20

F 2 8 F 3/04

【F I】

B 2 6 F 1/24

B 2 6 F 1/20

F 2 8 F 3/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 18 日 (2004.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の突起部を具備するフィルムを製造するためのフィルム製造システムにおいて、
 回転軸が並列する一対のロールを有し、該ロール間にフィルムを挟入することにより
 前記突起部を成形するための成形ロール部と、突起部を成形されたフィルムを引き抜き、
 前記突起部を整形する引抜整形ロール部とを備えることを特徴とするフィルム製造システム。

【請求項 2】

前記引抜整形ロール部は、回転軸が並列する一対のロールを有して前記成形ロール部に
 て成形されたフィルムを引き抜くための引抜ロール部と、回転軸が並列する一対のロール
 を有して前記引抜ロール部から送り出されたフィルムが具備する前記突起部を整形するた
 めの整形ロール部とからなることを特徴とする請求項 1 に記載のフィルム製造システム。

【請求項 3】

前記成形ロール部、引抜ロール部、及び整形ロール部が夫々有する一対のロールは、駆
 動ロール及び該駆動ロールに従って回転する従動ロールからなり、前記引抜ロール部の駆
 動ロール径は前記成形ロール部の駆動ロール径以上を有し、前記整形ロール部の駆動ロー
 ル径は前記引抜ロール部の駆動ロール径以上を有していることを特徴とする請求項 1 又は
 2 に記載のフィルム製造システム。

【請求項 4】

回転軸が並列する一対のロールを有し、該ロール間にフィルムを挟入することにより前
 記フィルムに複数の突起部を成形するための突起部成形装置であって、

前記一対のロールのうち一方のロールは、ロール面に所定距離を隔てて複数の突設部
 を具備し、他方のロールは、前記複数の突設部に係合する係合溝部を具備することを特徴
 とする突起部成形装置。

【請求項 5】

前記成形ロール部が有する駆動側ロール、前記引抜ロール部が有する駆動側ロール、及
 び前記整形ロール部が有する駆動側ロールは、互いに連動することを特徴とする請求項 1

乃至 4 の何れかに記載のフィルム製造システム。